

# 原子炉建屋滞留水のサンプリング結果について

2019年 2月28日

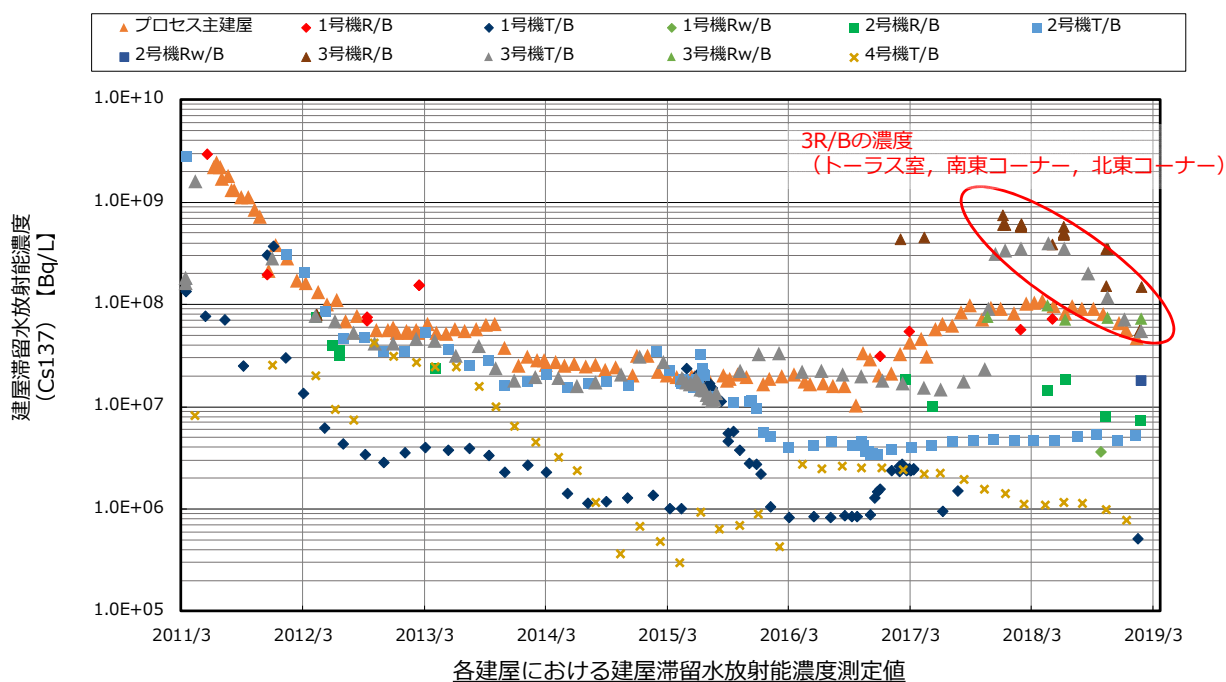


東京電力ホールディングス株式会社

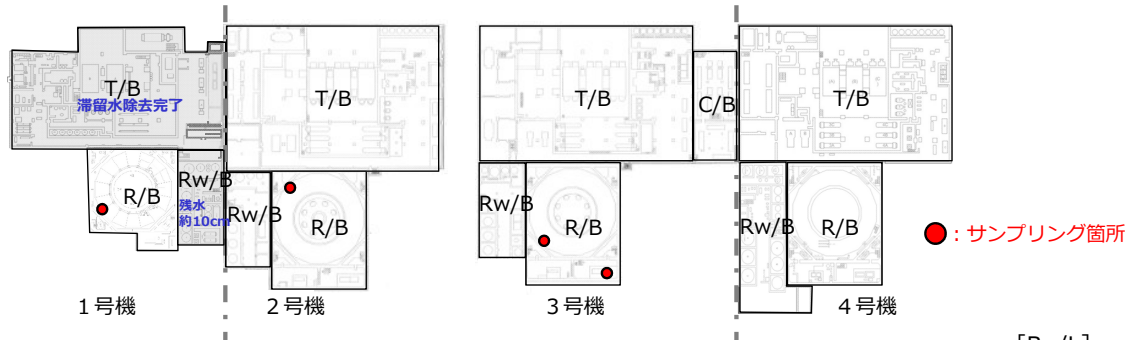
## はじめに



- 現在、3号機原子炉建屋（R/B）内の滞留水の放射能濃度上昇が確認されており、その原因調査の一環として、R/B内の滞留水のサンプリングを行っている。3号機R/Bの放射能濃度は、至近では徐々に低下傾向を示している。
- 本資料では、2019年1,2月にサンプリング採取した1～3号機のR/B滞留水の分析の結果をご報告する。



- 今回、今後R/Bの滞留水処理を進めるに当たり、 $\alpha$ 核種の傾向を確認するため、2,3号機R/B滞留水（トーラス室）の全 $\alpha$ を測定したところ、比較的高い濃度を確認した。
- なお、滞留水移送装置には $\alpha$ 核種を含むスラッジ等を下流に移送させないことを目的に渦流式ストレーナを設置しており、現状、移送先であるプロセス主建屋（PMB）、高温焼却炉建屋（HTI）において、全 $\alpha$ は検出限界値未満であることから（次頁参照）、R/B内に概ね留まっているものと推定。
- 1～4号機建屋滞留水中の全 $\alpha$ の濃度については、今後も継続して確認していく。

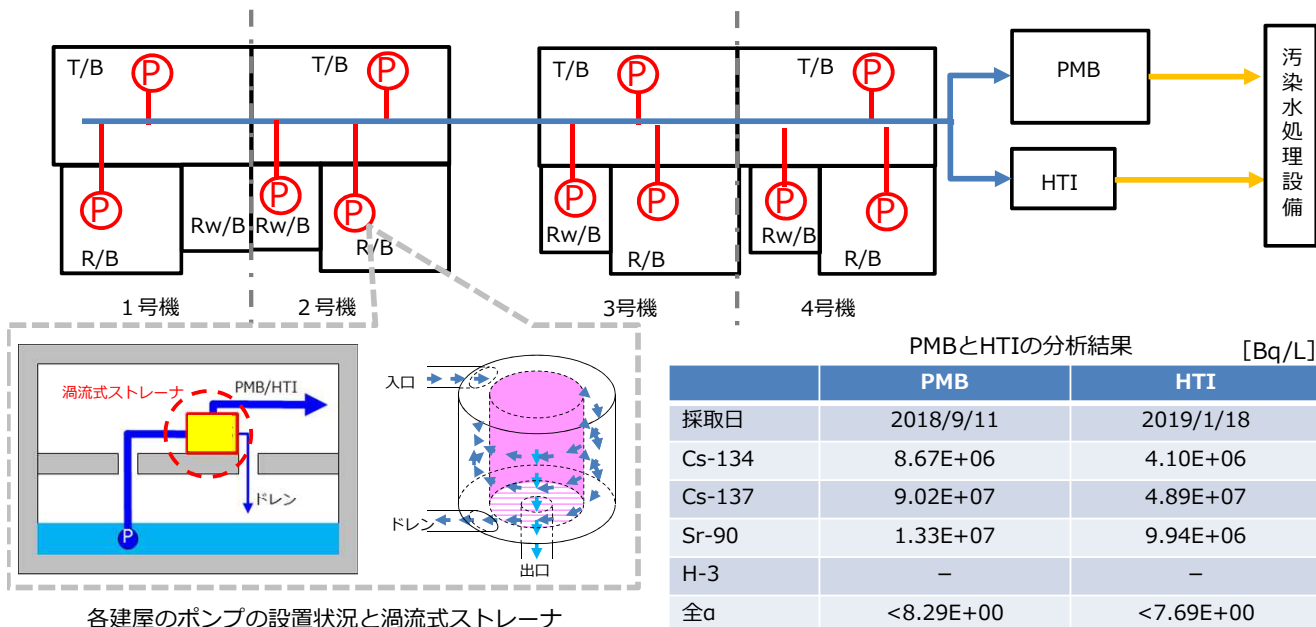


	1R/B (トーラス室)	2R/B (トーラス室)	3R/B (トーラス室)	3R/B (HPCI室)
採取日	2019/2/1	2019/1/29	2019/1/29	2019/2/1
Cs-134	5.26E+07	6.17E+05	4.67E+06	1.24E+07
Cs-137	6.94E+08	7.20E+06	5.52E+07	1.45E+08
Sr-90	6.79E+07	2.50E+07	1.22E+07	1.60E+07
H-3	2.55E+06	1.61E+06	2.28E+06	3.26E+06
全 $\alpha$	-	1.02E+03	1.49E+03	-

※ 1：滞留水移送装置は $\alpha$ 核種を含むスラッジ等を下流に移送させないことを目的にした渦流式ストレーナを設置している。

## 【参考】原子炉建屋の移送先（プロセス主建屋及び高温焼却炉建屋）の状況

- 滞留水移送装置は、滞留水移送ポンプ出口に渦流式ストレーナを設置しており、遠心分離したスラッジ等と共にドレンを建屋に戻している。
- 渦流式ストレーナの出口水は他建屋の滞留水と共に、下流のPMBとHTIへ移送し、汚染水処理設備にて処理をしている。
- 汚染水処理設備の入口水となるPMB滞留水とHTI滞留水の、至近の全 $\alpha$ の分析結果は、検出限界値未満であった。



各建屋のポンプの設置状況と渦流式ストレーナ

	PMBとHTIの分析結果 [Bq/L]	
	PMB	HTI
採取日	2018/9/11	2019/1/18
Cs-134	8.67E+06	4.10E+06
Cs-137	9.02E+07	4.89E+07
Sr-90	1.33E+07	9.94E+06
H-3	-	-
全 $\alpha$	<8.29E+00	<7.69E+00